② 22年度交付分

区分		金額	内訳
業務達成基準による振替額	計	0	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
期間進行基準による振替額	計	0	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	3,853,669,429	①費用進行基準を採用した業務：全ての業務 ②当該業務に関する損益等 ア）損益計算書に計上した費用等の額　3,853,669,429 （研究費：3,190,595,556、一般管理費：663,073,873） イ）資産の取得額　3,226,052,576 （機械装置1,355,444,430、建物944,158,019、工具器具備品836,621,380、その他89,828,747） ③運営費交付金の振替額の積算根拠 費用3,853,669,429＋資産取得3,226,052,576＝7,079,722,005
	資産見返運営費交付金	3,203,267,576	
	資本剰余金	0	
	建設仮勘定見返運営費交付金	22,785,000	
	計	7,079,722,005	
会計基準第81第３項による振替額		—	該当無し
合計		7,079,722,005	

③ 23年度交付分

区分		金額	内訳
業務達成基準による振替額	計	0	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
期間進行基準による振替額	計	0	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	45,869,129,559	①費用進行基準を採用した業務：全ての業務 ②当該業務に関する損益等 ア）損益計算書に計上した費用等の額　44,975,068,596 （研究費：41,523,223,441、一般管理費：3,404,189,630、その他の経費等：47,655,525） イ）債務の支払額　894,060,963（リース債務894,060,963） ウ）資産の取得額　5,934,093,973 （工具器具備品2,520,658,325、機械装置2,310,972,468、建物437,478,681、その他664,984,499） ③運営費交付金の振替額の積算根拠 費用44,975,068,596＋債務支払894,060,963＋資産取得5,934,093,973＝51,803,223,532
	資産見返運営費交付金	5,595,297,342	
	資本剰余金	3,934,141	
	建設仮勘定見返運営費交付金	334,862,490	
	計	51,803,223,532	
会計基準第81第３項による振替額		—	該当無し
合計		51,803,223,532	

⑶ 運営費交付金債務残高の明細

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
20年度	業務達成基準を採用した業務にかかる分	0	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
	期間進行基準を採用した業務にかかる分	0	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務にかかる分	5,865,118	○自己収入が収入予算額を下回ったことによる業務経費の不用額である。
	計	5,865,118	